

議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 令和7年3月4日（火）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和7年3月4日（火）午前10時57分
- 3 会議場所 委員会室
- 4 出席委員
 - 1 番 牛尾 直人君 6 番 光成 良充君 8 番 大口 浩志君
 - 9 番 治徳 義明君 11 番 金谷 文則君 13 番 福木 京子君
 - 15 番 下山 哲司君
 - 17 番 佐藤 武議長
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者

市 長	友實 武則君	教 育 長	坪井 秀樹君
総合政策部長	倉本 貴博君	総 務 部 長	戸川 邦彦君
教 育 次 長	入矢五和夫君	財 務 部 長	杉原 洋二君
建設事業部長	桐谷 文昭君	建設事業部参与	岡本 和典君
総 務 課 長	花谷 晋一君		
- 7 事務局職員出席者

議会事務局長	原田 光治君	主 幹	青木 智彦君
--------	--------	-----	--------
- 8 協議事項 1) 令和7年3月第2回赤磐市議会臨時会の会期日程及び議会運営について

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より挨拶をお願いいたします。

佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 皆様には大変お忙しい中、急遽議会運営委員会を開催してお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。

今日の協議事項、臨時会の開催についてということで皆様方の御協議、御意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございました。

友實市長。

○市長（友實武則君） 皆様には大変御多忙の中、議会運営委員会を開いていただきましてありがとうございます。今回の議会運営委員会については、私どものほうから切にお願いをさせていただいてのことでございます。さきの本会議で令和6年度の補正予算、そのうちの明許繰越しについて皆様から御理解をいただけなかったということで、本会議でのやり取り、これをしっかり見直しまして、もっと説明を尽くして皆さんに御理解をいただきたいということで、臨時会の招集をお願いしているところでございます。

この後、詳細には担当から説明もさせていただきますので、御理解の上、適切なる御決定をいただければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（下山哲司君） ただいま市長のほうから説明がございました。本来でしたら28日で議会は閉会いたしておりますが、再議でしたら継続ですけど、新たに本会議ということになれば特別のことになりますので、皆さんの御同意をいただいて先に進めたいと思いますが、そうということで皆さん御同意いただけますか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 御同意というのがいまいちちょっとぴんときないんですけど、今タブレットのほうへ示されている会期日程表を見ますと、3月6日の午前10時ということになっておるんですが、同じく3月6日の午前10時に人権関係の会議が予定されておまして、それにこの議会が重なるっていうのは問題がないんでしょうか。

令和7年度の人権教育、人権啓発、その他もろもろの令和7年度の計画づくりと、それに向けての1回目の計画づくりの委員会だというふうに認識しておるんですけど、その辺は問題ないんでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 執行部の答弁をいただけますか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） その前にそもそも何で開かないかんかということをやってからじゃな

いと……。

○委員長（下山哲司君） 取りあえず、今日は議会運営委員会を開かせていただくのは委員長のお願いで開いております。ですが、ここから先へ進めるには、皆さんの同意がいただけないと、今までの議会運営委員会の流れからいけばあれなんで、その中の御意見ということでお聞きしたんで、そういうふうに御理解いただけたらと。

ですから、取りあえずそれも解決していかんと次が終わりませんので、総務部長、お願いします。

戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 今回、補正予算につきまして臨時議会をお願いしているところでございます。この臨時議会の日程調整をする中で6日というところで調整をさせていただいております。

先ほど大口委員が言われたとおり、先に予定されていたものがございますので、そういったところは執行部としては調整をさせていただくつもりでその日程とさせていただきましたが、この後、御協議いただければと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 今大口委員が言われたのは、それと関係しとる委員がその議会とバッティングするんじゃないかということと言われたように思えたんですが、その委員が向こうへ不参加でいいのかという話ですよ。議員は何事にも議会優先ですから、その辺のあれをいただいとかと先へ進めんの。だから、委員が欠席でいいということですね、そちらのほうは。そう理解したらいいんですね。

○総務部長（戸川邦彦君） はい。

○委員長（下山哲司君） それでは、次、金谷委員、お願いします。

○委員（金谷文則君） 何か急な話で、開く開かんという前にその話なんですけど、人権を軽視するというようなことはやめるべきで、今の日程表からして6日なんていう日にちを指定されているからそこがあるんであって、先ほどもちらっとここで話をしたんですけど、我々も選挙があるんですけど、その前の1週間は何も入ってないんで、そこで臨時議会をしていただくので何の問題もないんですけど。なぜ6日にこういうふうな日程にせないかんのか。人権の関係には市の幹部も出るというふうに聞いとるんで、市の幹部も出ない、それから議員も出ないで人権の関係をとって、そんな軽視をするようなことは駄目だと思いますので、もし開くにしても日程調整が必要かと思います。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） ありがとうございます。日程調整については、日程変更も踏まえて調整させていただきます。

○委員長（下山哲司君） 今載っとるのは、まだ議会運営委員会が終わって確定せん限りは確

定してませんので、この議会運営委員会で協議してどちらが優先順位かということで皆さん御協議いただければ、それは後ほど日程でやっていただけたらと。ですから、今は取りあえずこの議会運営委員会で次の議会をやらせていただくために御同意をいただく……。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） だから、何のために開くのかっていうことが分からないのに、議会を開くというたら大変重要なことですので、その重要度があるのかどうかとか、開く必要があるのかどうかっていうことが分からないまま、ただこの間の28日の最終決定を真摯に受け止めて何かをっていうような話では議会をする必要もないし。ちらっと聞くには、今の繰越明許費についての話ということであれば、そこの決定が問題であるのであれば再議をすればいい話であって、改めて臨時議会をしなきゃいけない理由があるのかどうか。その理由をしっかりといただければ、納得できればそれは何の問題もないかと思いますが、異例のことですのでしっかり吟味してからのほうがいいと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） それでは、総務部長でいいですか。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 今回臨時議会で審議をお願いする案件につきましては、令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）として修正案として可決をいただいた案件につきまして、その一部に契約済みの金額があります。その契約済みにつきまして、その中の執行済み額を除く金額につきまして繰越しの承認をお願いしたいと考えております。

現在工事施工中の案件等もございますので、年度内の完了が困難な場合は繰越しせざるを得ない部分がございますので御理解いただきまして、早期にその調整もさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） その問題だったら、それこそ予算常任委員会で補正予算が否決された、それは全てのことを包含されてるわけですから、前の議会で8億円何がしの繰越明許の部分についてもこれは決められとる話で、そこを全て予算常任委員会で駄目ですよという結論が出たときになぜそういうような話をされなかって、28日に終わってからまた臨時議会をしなきゃいけないというふうな理由を持ってこられるのか。ちょっと解せないんですけど、なぜじゃあそのときにやらなかったんですか。そういう今の理由だったら予算常任委員会の後で何かあったら申入れをされたらよろしいことじゃないですか。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） そこにつきましては、おっしゃられるとおりだと思います。その

中で、自分の不徳の致すところではございます。すみません。

○委員長（下山哲司君） それでしたら、建設事業部長にお聞きしたほうが早いんじゃないですか。どうですか。

ただ、政策的には、そりゃ議会との交渉は総務部長のあれかもしれませんが。じゃけど、議長に提出するというあれして、その後に建設事業部のほうから全くアクションはゼロなんですよ。へえで、予算つつきょうたのは建設事業部なんですから、じゃからその辺も踏まえて建設事業部のほうから御理解いただけるように、担当委員長ですから説明してもらわんと、議会運営委員会の委員長としては困るんですよ。どっちの味方をするとかというんじゃないしに、私はただこの会を仕切りようだけなんで、私の意見でああじゃこうじゃ言うことは言えんで、じゃあ建設事業部長、お断りしてお願いできるんならきちっとしていただいて。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 委員長の言われることがちょっと私も解せんところがあって、議会という決定機関が決定して、ということは、いろんな契約にしてもそうですけど、条例にしてもそうですけど、条例でも予算でも何でも決定したことがちょっと違っておりましたから、不徳の致すところですから、じゃあすぐ臨時議会をしてまた次を変えましょうなんていう話ができるのかっていったら、私はそんなもので決定をしとるわけじゃないと思います。再議なら分かりますよ、議会の中であったことについてその決定は再度検討してほしいということですから、それはする。それは当たり前だと思うんですけど、終わってから、さきの議会で決めたことは違っとったからもう一遍ほかのことを、同じ議案ですわ、それを審議するっていうことはあり得ないんじゃないかなと思うんですけど、私、違いますかね。

○委員長（下山哲司君） 一つ、私の今考えが分からん言われたんですけど、議会運営委員会の委員長としては、議長を通して執行部から要請があれば皆さんに諮って、皆さんの賛同がいただければやれるんです。じゃけど、委員長の権限を振り回すというのはもう前の28日で一応閉まってますんで、議会は。じゃから、それを皆さんに御賛同いただければ今日この先へ進めるんで、それについて今、私は議長から諮問されれば皆さんにお願いせにゃいけん立場になるんで。

○委員（金谷文則君） 端的に言うと、理解はちょっとできない。どうしても開く理由があれば開けばいいですけど、今の理由であれば臨時議会というのは、僕はおかしいと思います。

以上です。

○委員長（下山哲司君） それでは、どうも市長のほうからお願いしていただかん限り、どうも私からこうせえああせえ言うのは皆さんに言えれんので、執行部のほうから7人の方に納得、私は議会運営委員会の委員長ですからやれ言うたらやります。じゃけど、皆さんが御理解いただくようにちょっと市長のほうから説明をお願いします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 先ほども申しました予算常任委員会、あるいは本会議で御指摘のございました説明不足だということを受けまして、しっかりと説明した上で皆さんの御理解を得ていくということが必要という判断をさせていただきました。

今発注をして工事も進捗しているものが、これが3月31日で完了しないということが明らかなので、いま一度精査をさせていただきましてそのあたりを御理解いただいて、この経費について再度繰越しのほうをお願いしたいということで、異例ではございます、本会議終了直後に再び補正予算を上程させていただいて議会を招集するのは甚だ今までの議会運営の中では異例のことと存じております。そこを御理解いただきながら、もう一度御審議をいただきたいと、そういうことでお願いをするわけでございます。そのあたりをお含みいただいて、どうぞ御理解をいただければと思います。よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） 今市長お話があったんですが、通常の委員会でしたら採決をしてできるんですけど、これはイレギュラーな議会のあれをやりようるんで、皆さんの御理解をいただくん限りは委員長としてはなかなか難しいんで、取りあえず順番に御意見を。

福木委員。

○委員（福木京子君） いろいろ今考えとんですが、これがもし開かなくてこのままもう選挙の後にということになったら、どういう状況になるんですか。開かなくて、もうこれ一旦ここで決めとるわけですから、事情はあるんですが、選挙後というようなことになれば、どういう市としては対応になるか。その辺をお願いしたいと思います。聞きたいです。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 現在、この補正第8号でお願いしました修正案につきまして、土木費の繰越しが認められていない状況になっております。ということは、3月31日で工事の現場を終わらせる必要が生じてくると考えており、その時点での工事完工高で請負業者と支払いを済ませるということになります。工事が途中になってしまうということでございます。

臨時議会を選挙後に開催させていただいて、この補正予算につきまして御審議いただくということも可能ではございますが、現時点でももう業者のほうと調整を進めていかないといけない状況になっていますので、3月末にその状況になるというのはすごく執行部としては現場のリスクがあるかなと考えております。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） それで、執行部はそりゃもう困るんですが、業者との関係はどういうふうな状況になりますか。

○委員長（下山哲司君） 先ほど説明があつて、途中で精算するということ、途中でやめて精算すると。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 臨時議会ということなんですけども、先般の新拠点構想の関連の修正案というのが可決されたということは重く受け止めてます。

ただ、質疑なんかをお聞きしてましたら、皆さん新拠点構想そのものに反対ではなくて説明不足ということが主眼だったと思うので、執行部の皆さんが再度そういったことも含めてしっかり説明をしたいということであれば、今言う皆さんの同意が条件でしょうけど、異例ではあっても臨時会をしても構わないんじゃないかと思ってます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 今しっかり説明をしたいというふうに市長のほうからの答弁がございました。本会議の中でも話をさせてもらったんですけども、予算常任委員会が出とった請け負ってるコンサルタントとか、相手業者とか、市道認定の不備とか、そういうところの説明がなっていないというふうな話で今回補正予算の修正案が可決されたと思ってるんですけども、その辺は今言われている修正案に賛成した議員が納得できるだけの答えを持ってその議会に臨まれるっていうのはできるんでしょうか。その辺をお聞きしたいのと、へえから今3月31日で工事が終わってしまうということになると、それ以降は多分契約してると思うので、僕は本会議の討論で言わせてもらったんですけど、契約が途中で終わってしまうっていうことは相手業者から損害賠償請求とか、そういうような可能性はあるのかどうか、その辺も分からないので、その辺をしっかりと説明をいただきたいと思うんです。ここ意見を言う場でしたか、聞く場じゃなかったんですか。どっちですか。

○委員長（下山哲司君） 聞いてもいいですよ。

○委員（光成良充君） 執行部からその辺も説明をいただきたいと思うんですけど。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 桐谷建設事業部長。

○建設事業部長（桐谷文昭君） 大変申し訳ございません。

さきの議会のほうで1億4,000万円ということで、補正ということで繰越しを要求させていただきましたが、ちょっと精査をさせていただきまして、その中で契約済みのものが幾らかございまして、その分については少し今回修正案を出させていただいて、丁寧な御説明をさせていただいた上でその繰越しをお願いできればというふうに考えてございます。今の繰越しで絶対必要な義務的なものについては、その中身につきましては詳細な説明をさせていただきたいと思います。

それからあと、違約金とかの話につきましては、受託契約を結んでますので、その中でどち

らかが一方的に打ち切るとなったときには相手と協議をしないといけないんですけど、そこで相手のほうからどうしても納得ができないということであれば、そういうことになることもありましょうし、協議の中でそれはもう分かりましたということであれば、そこは違約金も発生しないとか、そこは受発注者の協議によってその内容は決まってくるということでございます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 光成委員。

○委員（光成良充君） その辺は理解しましたが、ただ今金谷委員も言われとった、どうして6日なのかっていう、6日は大口委員が言われた人権があります。私、昼から社協の理事会があるんです。今回社協も次の当初予算の議案の審査のために事前でやるんですけども、それも私重要な仕事と思ってますので、なぜ6日なのか。今言われた10日の週は多分皆さん何もなく空いてがらがらだと思うんです。がらがらと言うちゃ、個人でいろいろ選挙のためのお仕事をされると思うんですけども、そこならほかの公務と重ならないところがあるんで、そこじゃ駄目だったのかなっていうのが僕もちよっと疑問があるんです、そこは。だから、その辺どうして6日なのかっていう、そこだけ教えていただければありがたいんですが。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） この日にちにつきましては、先ほど説明したとおり、その繰越しの案件でございますので、調整も含めて一日でも早いほうがいいという執行部の判断で6日とさせていただきます。日程につきましては、申し訳ございません、もう様々な要因がございますので、変更も踏まえて御協議いただければと思います。よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） 牛尾副委員長。

○副委員長（牛尾直人君） 臨時議会ということで少し調べてみると、災害対策であったり緊急性が高い案件ということになっております。この議会運営委員会の今の段階で議案の内容についてどうこう言うのは駄目なのかも分かりませんが、正直どういった内容で出てくるか分からない状態で、その緊急性であったり、言われたように、正直この金曜日の段階で一旦終わりました、選挙前ということでこういう議会の日程も組まれていました。その中で皆さんいろいろ動きがあった中で、この急な今日の日にちであり6日ということでもありますから、そこらが本当に緊急性でどうしても、今光成委員が言われましたように、このタイトなスケジュールというのが本当にどうなのかというのが、ちょっと議案の中身が分からないだけに、もうその議案の中身的に、いや、これは緊急だということであればすぐやるべきではというのが今の正直な感想、感想言うたらあれですけど、気持ちです。

○委員長（下山哲司君） 今各委員の御意見をお聞きになったと思います。市長のほうからそ

れを御理解いただけるような話がしていただければ前へ進めれると思うんで、市長、お願いできますか。

友實市長。

○市長（友實武則君） ありがとうございます。

3月6日という御提案をさせていただいてはおりますけども、先ほどのお話の中で、それが非常に困難ということであれば日程変更も視野に入れながら御協議をさせていただきたいというふうに思います。その日程がじゃあいつがいいのかというのは、またこの日程をすり合わせながら行いたいと思いますけども、いかがでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 今日決めんとまた議会運営委員会を開かにはおえんようになるんですよ。じゃから、今日皆さんと御協議を、休憩を取りますから、先ほども言うたように、牛尾委員が言われたように、皆さんが納得していただけるような話合いをしてもらうて再度開きますから、暫時休憩を取りますので。

○委員（金谷文則君） ちょっとその前にすみません。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 必要なら開くというのは、これはもうそれでいいと思うんですけど、一つの考え方として、今十分説明をするというのであれば、先に産業建設常任委員会を開いていただいてそこで説明をしていただく、それから予算常任委員会も全部クローズしとるわけではないんで、臨時に予算常任委員会を開いていただいて、そこで全員のところで納得いくかどうかの説明をしていただいて、納得がいけば臨時議会をすれば何の問題もないんじゃないかなと思うんです。それを急に、例えば今日議会運営委員会をやって、6日の日までというたら1日しかないところで皆さんがいろいろやるってちょっと無理があると思うんですよ。それで、6日の日に結論を出さないかんとなったら考える時間もない。それはちょっと今までのとおりで説明責任とかいろんな面では僕は駄目だろうと思うんで、できたらせつかく議会運営委員会をもう一遍開かなきゃいけないかもしれませんけど、産業建設常任委員会をやり、予算常任委員会をやって、皆さんが納得してるからじゃあもう今度は2遍も3遍も臨時議会をするわけにいかないんで、皆さんが合意できる形で臨時議会を開いて、皆さんに納得してもらって結論を出すという形はどうなんだろうかね、一つ提案として。

○委員長（下山哲司君） 私の立場として、議長から諮問を受ければできるほうへ協力するのが議会運営委員会の委員長の務めなんです。ですから、御理解をいただくように私もあれをせにゃいけないので、議長の立場とかなんとかというんじゃないしに、委員会を開くということに関しては先へ進めるから開くんで、皆さんが御協議いただいて、今日は日程だけですからもうそんなに時間かけたくないと思うんで、御理解いただいて、するということになれば、その内容については後ほど私がしゃべりますので、それに賛同していただいてやるということで御理解いただければそういうふうにしたいと思うんで、どんなでしょうか。

○委員（金谷文則君） 何かよう分からんというか。

○委員長（下山哲司君） 御理解いただいて。じゃから、議長のほうから諮問があつてやらんという方向へするのは議会運営委員会の委員長としての立場としてちょっとあれなんで、よろしいですか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 今金谷委員が言われた分で、もし臨時議会を開くにしても、その前に担当の産業建設常任委員会とか予算常任委員会とか開いて、それが終わって臨時会になるんですか。ちょっとその辺の説明を。

○委員長（下山哲司君） 福木委員、ちょっと待ってください。

取りあえず続けてこの議会運営委員会をやってもええという御理解をいただかんと、そういう話も諮れんで、中でそういうことを諮るようにしておりますので、やってもええよという御理解をいただければ先に進めて早く終わりたいんですけど、どんなでしょうか。

私の立場は、次へ持ち越すという話はできるだけ開いた以上はやりたくないんで。

○委員（金谷文則君） 日程を決めるということか。

○委員長（下山哲司君） そう。そういうことで日程だけ決めさせていただいたら。

その中身については、御理解をいただくようにしゃべりますので、それで賛同していただいて、皆さんのいいほうへ決めていただいたらいいんで、運営の中身は。

そういうことで今日は御理解いただいて、日程だけお願いできますか。どんなでしょうか。よろしいか。委員長としてはそういうお願いをせにゃいけん立場なんで。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） シンプルに考えてどういう議案が出るかは分かりませんが、例えばですよ、修正案に賛成をした人間が臨時議会で今度は変わったと、おめえ何しょんならと言われた際のシンプルな説明ができるような案件が出てくるんですかね。

というのが、特に皆さん敏感になっておられますけど、それぞれ選挙もございます、おめえらにぎやかしただけかというような声に直面した際に、シンプルにああそうだなと言われるようなお答えができるような議案が来るんですかね。

○委員長（下山哲司君） そういうふうに執行部に努力していただくしかないんで、議員として混乱を招くのが議員でないんで、その辺はしっかり議員としての信念を持ってやっていただかないけんので。じゃから取りあえずこの議会運営委員会を先へ進ませていただいてよろしいかという御同意を私がいただかんと、もうここで終わりなんです。それじゃ、今日議会運営委員会に集まっていた価値がない、僕の仕事もできんで、取りあえず日程だけ皆さん御協議いただいて、この日ならええよということで決めていただければ、それで今日この議会

運営委員会を開いたあれがあるんですけど、御理解いただけますか。

中身については、また順番にやらせていただくんで、どういう内容でやれというあれを判断いただければ、そのように議会運営としたら進めていきたいと思う。よろしいですか。

○委員（金谷文則君） すみません、委員長、盾突くわけでも何でもないんですけど、内容があって結論があるわけで、こういうことがあるから必要がある、必要があるから開くっていうんで、何をやるか分からんのに日程だけ決めるなんていうことは僕はないと思います。

○委員長（下山哲司君） ですから、先ほど言うたように、開いてこれから進めていかせていただいて、それから中身について皆さんと御協議いただくということで、それでも駄目じゃ言うんならいいですけど、この話だけで止めたんじゃ今日議会運営委員会を開いた価値がないんで、一応皆さんに進めさせていただいて、最終的に判断していただきゃいいんですけど、取りあえず中身を協議するというで御理解いただけますか。

これから協議してもろうて日程と、それからどういうやり方をするかというのが2つしかないんで、それを協議していただいてやるかやらんかしていただければいいんで。取りあえず一応私が言うたのは、イレギュラーなやつじゃから皆さんの同意を得て、28日で閉まっとなですけど、新たにやらせていただく、御理解をいただくというのが今の話なんで、それはもうオーケーしていただければもう何も、これだけ協議していただいたんですから理由になると思うんですよ。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 28日のはもう28日で本会議は終わって、別に臨時議会とはもう全く別なので、別に考えないといけないと思うんです。前のを引き継いでやるわけでは何でもないんで、執行部としては新たに臨時議会を開いて議案を提出してそれを審議してほしいというだけの話であって、前のことを引き継ぐ引き継がんはもう別だから、きちんと提案をするものの理由を言っていただいて、それが提案するんだから開いてあげりゃいいと思うんです、何かあったら。それはどうしても緊急性があると執行部は思っておられることだから、それから内容を精査するという話でしょうから。

今言われたように、開くということは、それはもうこっちでやめましようとか、開かないでくださいというわけにはいかないとは思うんで、委員長が思われとるように進めていただければと思います。

○委員長（下山哲司君） それじゃ、進めるということに御理解いただいたということで、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員（福木京子君） 私、ちょっと意見よろしいですか。

○委員長（下山哲司君） 福木委員。

○委員（福木京子君） この修正動議が否決されたというのは、微妙に今のこの市政の在り

方、進め方についての反映だと思うんですよ。それは選挙前にいろんな議員さんがいろんなことを聞かれてここに反映されたと思うんですよ。だから、そういう意味ではもう選挙にそれが反映するわけですから、その後でいいんじゃないかと私は思います、意見としてね。

○委員（金谷文則君） 日程がね。

○委員（福木京子君） うん、日程が。

○委員長（下山哲司君） 先ほども申し上げましたが、その内容について義務的経費があるということが議会に示された場合は、義務的経費については議員としては執行できるような採決をせにゃいけないのだと、私は思ってます。ですから、それ以外のことに关してはもう駄目ですよということで、9名ですか、委員が御賛同いただいてやっとなですから、それはそれで。

それから、議会としてせにゃいけんことはするということを御理解だけいただきたいというふうに私は委員長としてはお願いするしかないんで、御理解いただいて日程だけ決めていただいたら私の今日の仕事はしたことになるんで。その辺も御理解いただいて、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それじゃあ、先に進めさせていただきます。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項1番目、令和7年3月第2回赤磐市議会臨時会の会期日程及び議会運営について、まず執行部から説明をお願いします。

これについては、先ほど説明いただいたんで、簡潔にお願いします。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 今回お願いしますのは、令和6年度赤磐市一般会計補正予算で第9号になります。こちらにつきましては、契約を締結済みの案件につきまして繰越しの変更をお願いするもので、契約済み額から執行済み額を除く7,950万7,000円につきまして繰越しの承認をお願いするものです。現在工事施工中の案件もございますので、年度内完了が困難なため繰越しをお願いするものとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） それでは、議長、説明をお願いいたします。

佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 今回の提出議案につきましては、提案理由説明の後、予算常任委員会に付託し、委員長報告、質疑、討論、採決を行いたいという流れで行かせていただきたいと思いますので、この件についても御協議をよろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ただいま説明がありました。議長の説明があったように、今回提出される議案につきましては、提案理由説明の後、予算常任委員会へ付託し、委員長報告、質疑、討論、採決を行うことで、ここでちょっとあれですが、続けて行かせていただきます、先ほどの話なんで。

次に、補正予算の内容は、土木費ということで産業建設常任委員会の所管事業ですので、予算常任委員会の前に産業建設常任委員会で説明を受けたほうがいいかと思うんですが、その件について産業建設常任委員会の委員長から。

○委員（金谷文則君） 先ほども私のほうから意見は申し述べさせていただきましたが、6日の予算常任委員会の前に産業建設常任委員会をやってというようなことじゃなくて、しっかり議論ができるように、議案を提出するということの前に産業建設常任委員会並びに予算常任委員会の臨時でもいいですから開いてしっかりそこで説明をしていただくと。そこで合意ができてのみその前に進むものであろうというふうに思います。全く今まで説明がないものが急に今回だけ説明をするというようなことは産業建設常任委員会としては受け入れられませんので、しっかりそこでお話をしたい。

それから、理由として、先ほど契約済みで完了できないから繰越しをするんだって、これ当たり前の話で、それが急に何か月かの間にその工事ができなくなると、それで3月のエンドまで完了できないから繰越しをするんだというのがこの間の議案に出てくるようなことは僕はおかしいと思います。契約は、決められた日にちがあっていつまでに完工しますということで契約をしとるわけで、1か月ぐらいでできる仕事であればそれだけの短い期間で繰越しを変更するのはいいかもしれませんが、当然1億円何がしのお金を完工するためには一月や二月でできるはずがない。何でもっと前にその話をして、当然完了できないのが分かっているものをぎりぎりに持っていくなんていうことはあり得ないと。一遍切れればいいと思います。それは執行部の責任だと思いますよ、契約をしたのは、できないんだから。当然繰越しができるんだからいいですよっていうふうな安易な気持ちで仕事を進めてきとったんじゃないかなっていうようなことも委員会を開いて指摘を申し上げて、みんなが納得できたら前に進めばいいというふうに考えておりますので、事前に委員会をお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 私、委員長としての提案なんですが、今金谷委員の言われたお話について、取りあえず本会議を開いていただいて、産業建設常任委員会をやって予算常任委員会をやれば、予算常任委員会の中で産業建設常任委員会の人材がまたしゃべれなくなるんですよ。もう表現が悪いですけど、ぶっつけ本番で予算常任委員会をやっていただいて、その中で全員で一緒にやって、へえで執行部のほうにきちっと納得のいく説明をいただくという方法では、委員長、御理解いただけませんか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私は、産業建設常任委員会の中で事業について、それから今までのことについてもしっかり説明をするという今話があったんだから、説明をしてないことがたくさんあるのに一遍に予算常任委員会の中に持って行ってやるというようなことは違うことだろうと思いますので、事前に産業建設常任委員会で説明をいただいて、納得して予算常任委員会

にかけていただいて肅々と物が進むような形のほうが一番ありがたいと思いますので、日程も6日じゃなくて10日の週に変えて事前に産業建設常任委員会を開かせていただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 委員長の提案なんで、10日の週に変えるとするなら皆さん日程を調整していただいて決めていただければいい。

その内容については、ですから本会議を開いて、休憩して、産業建設常任委員会をして、産業建設常任委員会で納得していただいたら、次に予算常任委員会をやるという考え方でよろしいですか。

金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私が申し上げるのはそうではありません。産業建設常任委員会を開いて、次回の臨時議会に提案する内容がこういう内容ですっていうのをいつものパターンで皆調整をするわけですから、やってきてるわけですから、それを踏襲いただきたい。それで、臨時議会をするということになれば、議案の提出があつて、それについて予算常任委員会を開いていただければいいわけで、そのように御理解いただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） それでは、今いろいろ言ようとおえなので、内容的に私のほうは議長に言うて、議長から皆さんに告知せにゃおえなので、何日も取るというのはちょっと今の状況、選挙前で大変だと思うんで、日にちを決めていただいたらそのときに産業建設常任委員会を開いて、産業建設常任委員会が終わり次第、本会議を開くという方向でよろしいか。

○委員（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 金谷委員。

○委員（金谷文則君） そんな簡単なもんじゃないと思いますよ。だから、産業建設常任委員会を先に1日、日程を取っていただいて、それが1時間で終わるか、半日かかるか、1日かかるか分かりませんので、それを速やかに産業建設常任委員会を終了させて、その後で予算常任委員会はもしあれなら議案を提案された後でそれをやるかどうか、それはもう予算常任委員長との交渉もあろうかと思いますが、産業建設常任委員会としては6日なんてとてもじゃないが、その日に終わるかどうか分からないことを約束するわけにはいきませんので、当日に産業建設常任委員会を開いて、それから予算常任委員会をやって、それから採決というようなことは、日程、何があるやら分からない、特に重要なことであるのを1時間で終わらせるとか30分で終わるというようなことはないと思いますので、日程変更が必要かと思います。

○委員長（下山哲司君） それでは、産業建設常任委員会にしても予算常任委員会にしても委員長のあれなんで、私が日にちをどうこう言えなので、やっていただくということで、臨時議会の日にちだけ決定していただくということで、今日は御理解いただけますか。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうふうな方向で進めたいと思いますので、産業建

設常任委員会、予算常任委員会については後ほど委員長のほうへ事務局からの協議でやっていただくということによろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは……。

○議長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤議長。

○議長（佐藤 武君） 産業建設常任委員会は当然委員会を開催できますけれども、予算常任委員会は今のところ付託されてないんで開催できないんで、そういうことで予算常任委員会は閉会中はできませんので。

○委員（金谷文則君） 付託してないんですね。

○議長（佐藤 武君） 付託してないからね。

○委員長（下山哲司君） そういうことになれば、議長と委員長が相談していただいて、本会議を開いて休憩して予算常任委員会をすると。

そういう方向でやっていただけたら、それでいいと思います。

だから、産業建設常任委員会は今委員長がここへおられて言わりよんで、委員長が先にやると言われとんですから、それはそれで委員長のあれを尊重せにゃいけないので、取りあえず今日は本会議の日程を決定だけしていただけたら私いいんで、よろしいですか。

皆さん、その日程について御協議をお願いしたいと思います。

それでは、暫時休憩します。

午前10時48分 休憩

午前10時56分 再開

○委員長（下山哲司君） 会議を再開します。

先ほど御協議をいただいた本会議の日程について、執行部から日にちの提案をお願いします。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 戸川総務部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 来週12日の午前10時からでお願いしたいと思います。

○委員長（下山哲司君） ただいま執行部より12日という提案がございました。皆さん御同意いただけますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、12日に決定いたします。

内容について、原田局長、お願いします。

○議会事務局長（原田光治君） それでは、会期日程表（案）を御覧ください。

まず、日程につきましてですけども、日程第1日、3月12日水曜日午前10時から本会議を議

場で開会いたします。

会議録署名議員の指名につきましては、9番治徳義明議員、10番原田素代議員にお願いいたします。

会期の決定につきましては、3月12日の1日間でございます。

議案の上程につきまして、このたびの議案は、予算案件1件でございます。

令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）になりますけども、本会議場で提案説明の後、予算常任委員会へ付託し、委員長報告、質疑、討論、採決を行うということでお願いしたいと思います。

以上が臨時議会の会期日程案でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ただいま局長から説明がございました。この日程でよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、お疲れさまでした。

以上をもちまして議会運営委員会を閉会いたします。

午前10時57分 閉会